

MRI が診断に有用であった内膜裂孔を伴った 胸部下行大動脈瘤の 1 例

木田 利之¹， 大内 学¹， 菅野 恵²

¹本多記念病院付属並木クリニック ²本多記念病院心臓血管外科

はじめに

動脈硬化性大動脈瘤と大動脈解離との合併の報告は少なくないが，大動脈瘤に伴う内膜に形成された裂孔を描出した症例の報告は少ない。

我々は，胸部下行大動脈の MRI による矢状断像および横断像で，胸部下行大動脈後壁に形成された内膜破孔を鮮明に描出し得た症例を経験したので報告する。

症 例

症例：67 歳，男性。

主訴：左上腹部痛。

家族歴：特記すべきことなし。

既往歴：3 年前に，腹部大動脈瘤で切除術を受けたことがある。

現病歴：昨年 9 月下旬より上腹部激痛訴え，近医受診し，高血圧の指摘のみであった。

10 月中旬から左上腹部鈍痛持続，食事とは無関係であった。精査のため入院となり，当クリニックに MRI 検査を依頼された。

胸部 X-P 所見：胸部下行大動脈の著明な突出を認める。

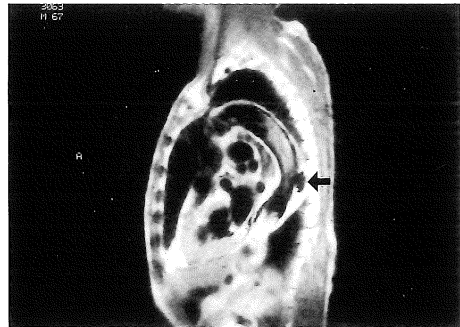


Fig.1. Sagittal section SE image of thoracic descending aortic aneurysm with intimal tear (←).



Fig.2. Axial section SE image of thoracic descending aortic aneurysm with intimal tear (↑).

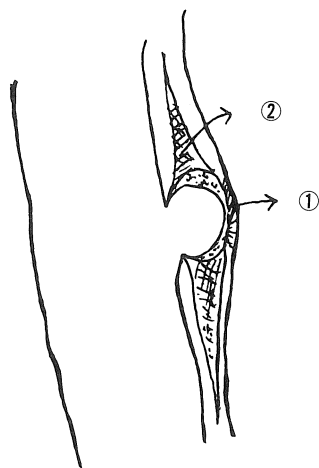


Fig.3. Sagittal schematic drawing of the mid portion of the thoracic descending aorta.

- ① This portion was dilated to 35mm externally. This area in tunica media and adventitia of the aorta showed reddish discoloration.
- ② An intimal tear, which was 14×25mm, was noted. Coagula in organizing process was found in the space between media and adventitial layer.

MRI 所見：矢状断 SE 像 (Fig.1) では、大動脈壁の内膜の一部が剝離し、その部分が裂孔となっている状態が鮮明に描出されている。横断 SE 像 (Fig.2) では、この像でも胸部大動脈の後壁部に明らかに裂孔が認められた。

手術所見：胸部下行大動脈の中央部分が外方に 35mm に拡張し、内壁に 14×25mm の内膜裂孔を認め、中膜と外膜間腔内に器質化した凝血塊を認めた (Fig.3)。動脈瘤切除術およびグラフト

を施行した。

考 察

大血管病変に対する MRI の臨床的有用性は比較的高く評価されている。MRI は血流に敏感で、任意の断層像が患者の体位の変換なしに容易に得られ、非侵襲的な検査法である。この症例の如く剝離内膜が造影剤なしに見ることができ、MRIE は極めて有用な画像診断法である。われわれの病因では、0.1T 常伝導式 MRI 装置で、一般に使用されている超伝導装置ではなく、常伝導装置でもこの程度に描出できることを示した。

本症例は、真性動脈瘤に解離を形成した例で、本性の呼称に“解離性大動脈瘤”を用いず“大動脈解離”と呼ぶ傾向があるのは、血管内膜および中膜の一部に亀裂 (解離孔 entry) を生じ、その亀裂を通して中膜内に血液が進入して剝離が中膜に沿って進展した状態が本症の本態であることが報告されている。

ま と め

胸部下行大動脈後壁に形成された内膜破孔を鮮明に描出し得た 1 例を経験した。MRI により内膜破孔の詳細な形態的評価が可能であった。MRI 法は、内膜破孔伴った大動脈瘤の非侵襲的診断法である。

**A Case of Aneurysm of the Thoracic Descending Aorta
with Intimal Tear Diagnosed by MR Imaging**

Toshiyuki KIDA¹, Manabu OHUCHI¹, Megumu KANNO²

*¹Department of Radiology, Namiki Clinic, Honda Memorial Hospital
3-3-22 Namiki Koriyama-City, Fukushima 963*

²Department of Cardiovascular Surgery, Honda Memorial Hospital

A case of thoracic descending aortic aneurysm with intimal tear of a 67-year-old man is reported . This intimal tear of aneurysm was clearly demonstrated by means of MR imaging.